

# ゆめサロン

## 便り

令和 4年

8月28日

吉賀町ゆめサロン

No.521

### 夏も

#### 終わりに



暑い夏ですが皆様お変わりございませんか。

二十五日頃から朝夕は少ししのぎ易くなった気がいたしますがそれでも日中は風がないと肌が痛いよう暑さの時もありました。秋の七草の覚え方は**あきあきあきあきあきあきあき**と覚えておくと便利です。おみねさんでみまします。おみねえし、すすき、桔梗、なでしこ、ふじばかま、くず、はぎでしたね。こんな事を考えて日を過ごして居ます。コロナのせいでおあいすることも出来ません。お大事にお過ごしください。

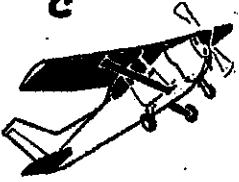


### アゲハ蝶



カメラをもってたたくむ私のそばに昨日も今日もアゲハ蝶がはねをひろげて飛び回ります。その模様も色も違います。その写真を知ったが美しくカラスアゲハです。とフェイスブックにあげました。二日目は解らないのでまたアゲハがきました。と写真をフェイスブックにあげました。それを見た名古屋にいる息子が今日のがカラスアゲハで昨日のはクロアゲハだと思えます。と書いていました。息子は恥ずかしい思いをした事でしょう。知った様な顔をして知らないことが多い私なんだと反省する婆でした。

### 石見空港で



夏の疲れで心まで病んでしまいうような日に石見空港にいつて

ました。広い草原の真ん中に猪が出没することの注意の看板がたつていて、デジカメのシャッターを切っていると本格的なカメラマンと思える方が来られました。会釈だけして物珍しようにデジカメのシャッターをきる私に、色々説明を下さいました。ご自分がとられた過去の写真の数々も見せて下さいました。飛行機も轟音のこして飛び立ち、辺りが静かになったころ、私達も空港を後にしました。親切なカメラマンさんの写された数々の写真が走馬灯のように浮かんできます。コロナを恐れる夏ですが素敵な夏の思い出となりました。またいつの日か行ってみたいと思ひながら……

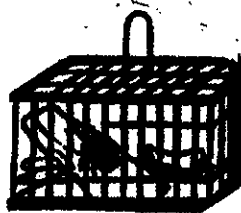
### 今年の夏



私が年取ったと言う事でしょう。暑くて地獄だったよう

に思います。苦しいと思い、コロナになったのだから何回検温したことかわかりません。今まだ、立秋の前後にはスイッチョンと鳴くウマオイをよくみかけたのですが今年は二十七日にはじめて茶色のウマオイらしきものを見ました。兎に角暑い夏だったように思います。メンバーさんにお会いすることもできずコロナを心配した夏でした。皆様お元気でいらして下さい。

### ホフスキ



いつもになく綺麗に実がついたので今年の夏は良かったと友達に話すと、うらやましがられたのでつい調子にのって来年は持って行ってあげるからと約束をしてしまいました。来年のことを言うとうと鬼が笑うといいますが、どこかでわらわられているかもしれません。

# ゆめサロン

## 便り

令和 4年  
9月 1 日  
吉賀町ゆめサロン  
No.522

### 秋ですわ



陽の光も少しですが柔らかく  
なったように思います。

皆様お変わりなくお過ごしで  
しょうか。今年もコロナの夏で  
した。中々お会いすることがで  
きませんが健康で居ればいつか  
はお会いできます。

何時の間にか高齢者と言われ  
る年齢になってしまいました。が  
若い方達のためにも、邪魔を  
しないで日々を過ごしていきたい  
ですね。皆さまお元気で...



### 巻いて

#### 言う事は



ただ年を重ねる事だと思ってい  
たのですがそうではないようで  
す。あたりまえですが、体の機能  
が衰えて行くことで早く歩けな  
かったり、個人差はあるでしょう  
がよく眠れないとか、色んな症状  
がでてくるようです。昔の人たち  
はそんなことも言わずにいたの  
だなあとわかってあげられなか  
ったことを申し訳なく思います。  
後悔先に立たずとはよくいった  
ものです。老いを迎えた私は今、  
反省しています。

### 投稿より

#### 成る日

#### の巻物



それは長女から送られてきたも  
のでした。中を開けてみると絵本  
です。青い色の濃淡で小さい猫が

風景画の中に書かれていまし  
た。流れる様な英語の文字の下  
の方に日本語で小さく訳がか  
いてありました。著者は葉祥明  
題は 魂を癒す

と書いてありました。この日は  
丁度あの世に行った猫の3回  
目の命日でした。

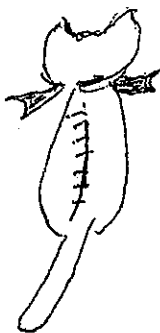
本の終わりに、寂しかったら  
いつでも僕を呼んで！

ぼくはいつもきみのすぐそ  
ばにいるからねと言ってしめ  
てあったのです。

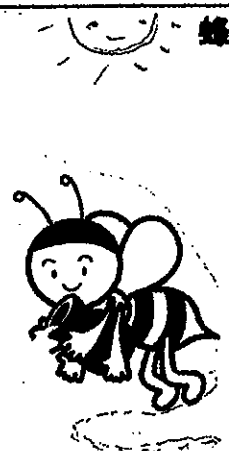
秋風がたって寂しさを感じ  
る日、娘からの贈り物に、教え  
られた気持ちでした。

ふつとあの猫はいつも私の  
そばにいてくれるんだと思っ  
て慰められた気持ちになりました。  
ありがとうございます。とつぶやいて  
その本をもう一度開いてみる  
私でした。もう一度

#### ありがとう



### 蜂



我が家には毎年スズメバチが  
やってきます。今年も例外なく  
どこに巣をかけようかと偵察に  
来ました。そこへ孫夫婦が子供  
を連れて名古屋からやって来た  
から大変です。こんな危ない所  
に居てはいけません。業者さん  
にお願いして取り除いてもらおう  
と老人二人を案じて心配してく  
れます。この孫は蜂で卒業論文  
を書いたのですからその怖さも  
知っています。知らない人が来  
たから匂いで興奮しているのだ  
と言っていました。そうでしょ  
う。心配しながらその子達が帰  
った後は蜂も静かで姿を見せま  
せんでした。

この頃はいい物があるようで  
蜂を寄せ付けないと言う線香が  
あったので買ってくぐしていま  
す。蜂は一匹もいないのに。

# ゆめサロン

## 便り

令和 4年  
9 月 7 日  
吉賀町ゆめサロン  
No.523

### あきごすね



皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。

暑い夏が終わらないうちに今度は大きな台風とテレビで盛んに報道されています。

コロナの心配に加えて心休まりません。どうぞ大したことがありませんように祈りましたが今回はあまり大きな災害はこの地方ではなかったようですがどうでしょうか？お大事になさって下さいませ。



### 少し遠出を

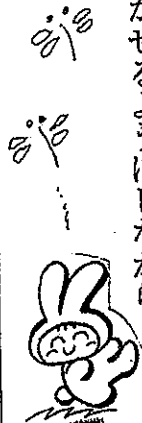


と言っても徳佐です。吹く風も爽やかで、信州の方まで足を延ばした感じでした。子育てを終えたばかりの頃は、何処へ行っても子供がいらない寂しさで旅を楽しむ余裕はありませんでしたが、子供は私達を必要としなくなりそのまた子供を育てています。

あちこちにりんごを売って居るのですが私達が食べる量は知れています。其れも買わずに通り過ぎるのは寂しいけれど、

いつも電話ばかりの友達と久しぶりにあつて喋りはとまりません。帰るといいながらまた外で喋って楽しい時の別れをここで絶つのもつらいけど、友達との再会を約束して帰路に付きました。

初秋の風が黄金色の稲をなびかせる様子を見て大げさなだけ此れが徳佐平野だと自分に言い聞かせるようにしながら、



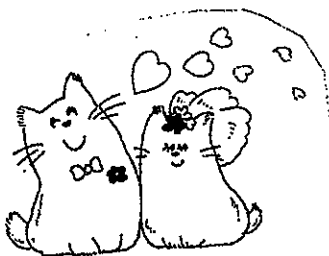
### 台風十一号

#### 襲来の日



避難所も開設されましたが心配したほどではなく被害はなかったようです。役場の方達に守られて感謝しています。夜に心配してまどをあけてみましたらスズメバチが飛んでいったように見えて急いで戸を閉めました。

### 猫カフェ



私の大好きな猫カフェに行きました。駐車場に車を止めると可愛い猫たちが立ち上がって見てくれるのもいしました。

「待ってたよ。」というように見えます。お店の方がおやつを上げられるとき、自分の前に置かれるのを待っています。決して人のものを食べたりしません。

保育園幼稚園の子供たちのようにお行儀よくしつけられて居ます。初秋のひと時。心安らぐ時間でした。衰えた前頭葉が少し復活したかもしれませぬ。

### 九月の

#### ゆめサロン集會

##### 休会します。

まだ、あちこちでコロナがでているようですので休会にさせていただきます。安心して開催できる日が早くなる事を祈ります。

皆さまお元気でお過ごしくださいませ。

